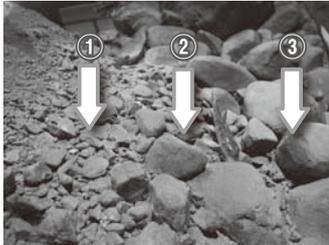


1 川の水にも、周りの土地をけずったり、流したり、積もらせたりするはたらきがあるか調べよう。

(1) 紫川のジオラマを見て、川の流れる速いところとゆるやかなところはどこか予想しましょう。



速いところ

ゆるやかなところ



(2) なぜそう思いましたか。

川底の石の大きさに注目させてください。①～③へ移るほど川底の石が大きくなっています。流れの速さと流すはたらきの関係に気付かせてください。

(3) 流れが速いところとゆるやかなところでの水のはたらきと土地の変化を書きましょう。

川の流れる速いところでは、浸食の作用により土地が削られたり、削られた土砂が運ばれたりする。

川の流れるゆるやかなところでは、運搬されてきた土砂が堆積することで川原などができる。

2 上流と下流の様子の違いについて調べよう。

(1) パネルやジオラマを見て、紫川の上流・中流・下流、それぞれの特徴について書きましょう。



上流

川幅が狭く、大きく角張った石がたくさんあります。川の流れる速そうです。特に、川幅・石の大きさや形・流れの速さなどに着目させて下さい。



中流

上流よりも川幅が広がっています。流れもゆるやかになっています。所々に丸みを帯びた石があります。



下流

中流よりもさらに川幅が広がっています。流れもさらに穏やかです。川底には丸い石が見えます。

(2) 上流と下流の様子の違いについて、「しん食」、「運ぱん」、「たい積」という言葉を使ってまとめましょう。

上流は流れが速く、両岸が浸食されることにより、崩れ落ちてきた石が多い。下流は、流れが穏やかなため、長い時間をかけて運搬されてきた丸みを帯びた石や土砂が川底に堆積している。